

『韓国へ行きたい理由・母の目線から』

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」第 30 号

夏休みに「韓国の友だち、アンニョンハセヨ！」青少年ホームステイ交流が開催されます。原則として一人が一家庭に 6 日間ホームステイするプログラムです。その準備として、参加メンバーが経験者の家庭に国内ホームステイに出かけることがあります。7/2(土)～7/3(日)で、うちにも小 4 の女の子が泊まりに来てくれました。緊張からか、始めのうちはこちらから聞かれたことだけに答えていましたが、2 日目にはどんどん話しかけてくれるようになり、慣れてくれてとても嬉しかったです。十数年ぶりにカラオケに行ったり、家でお菓子作りをしたりして、短い間でしたが楽しく過ごしました。韓国でもいろんな経験をしてくることでしょう。報告が楽しみです。

※セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。
⇒<http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

◇◇韓国へ行きたい理由◇◇

「韓国の友だち、アンニョンハセヨ！」青少年ホームステイ交流の参加メンバーは、準備会や日頃のピアザを通して準備を進めています。

今回は、申込書と一緒に提出された作文の中から、森本さん(小 4)のものを、お母様のコメントも合わせて掲載したいと思います。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラスメルマガ』第 30 号の目次です。

【目次】

- | | | | |
|-----|---------------|----------|-----------|
| ≪1≫ | 韓国へ行きたい理 | 兵庫県芦屋市在住 | 森本さん(小 4) |
| ≪2≫ | 母の目線 | | 森本さんのお母様 |
| ≪3≫ | セルラスインフォメーション | | |
-

≪1≫ 韓国へ行きたい理由

兵庫県芦屋市在住 森本さん(小 4) 家族構成:父、母、妹(小 2)

私が韓国に行きたい理由は三つあります。

一つ目は、同じ年の韓国の子と友だちになりたいからです。今までは、自分の家で受け入れをした時には韓国人の高校生や大学生が来てくれました。

いっしょにいろいろ遊んでくれてとても楽しかったので、今度は同じ年くらいの韓国人の子と仲良くなって、新しく姉妹みたいな関係になれたらいいなと思います。

お互いのことばや遊びを教えあっこしたり、いろんな事をおしゃべりしたり、楽しい時間を一緒に過ごしてみたいです。

二つ目は、韓国と日本のちがいをたくさん知りたいからです。韓国ホームステイの説明会の時に、経験者のメンバーが「韓国の信号機の光る部分はいくつあるでしょう」というクイズを出していました。私はその答えを自分の目で確かめてみたくなりました。そして韓国の街をいろいろと歩いて回って、韓国と日本の面白いちがいをたくさん見つけて、日本に帰ってきてからみんなに教えてあげたいと思います。

三つ目は、今までに覚えた韓国語がどれくらい通じるかを確かめたいからです。全部を韓国語で話すのはむずかしいけれど、「おはよう」「ありがとう」などのあいさつが自分から言えるようにがんばります。伝わらない時には、ジェスチャーを使って伝えるようにがんばろうと思います。そして、セルラスで覚えた言葉が話の中に出てきたら、聞き取れるといいなあと思います。自分の力でどれくらいコミュニケーションがとれるか挑戦してみるつもりです。

韓国に行く前に、お家でいろんなお手伝いの練習をして、韓国でもお手伝いをして家族の一員になりたいです。外国に行くのも、飛行機に乗るのも、一週間もお父さんお母さんとはなれて過ごすのも初めてで不安もあるけれど、日本に帰ってきたら、もう少ししっかりした自分になれていたらいいなと思います。

《2》 母の目線

森本さんのお母様

私自身は、ごく一般的な日本の英語教育を受けて、「英語」で話す前に身構えてしまうという自覚がずっとありました。せめて自分の子ども達には、英語を語学として学び始める前に、「英語もたくさんある言語の中の一つ」という状態にしてあげたいと感じていたところ、3年前にセルラスと出会い、活動方針に共感して入会を決めました。

入会当初と今の気持ちを比べてみて一番変わったのは、「言葉」よりも「体験」や「気持ち」を重視するようになったことです。保護者はつい、「取り敢えず、英語は話せるようになって欲しい。」
「中国語も話せたら、就職で有利かも。」など、実用的な成果を期待しがちですが、その前にまず、「Aさんの国だから、〇〇について知りたい!」、「△△語が話せたら、Bさんともっと仲良くなれる!」
という土台の気持ちをしっかりと育てることが、より大切なのではないのでしょうか。

入会当時、娘は小1で、「小4で単身韓国へホームステイ」に行くのは、一部の、特に積極的でしっかりした子どもだけだと思っていましたが、この3年間で、先に挑戦した大勢の「先輩」の体験談を聞くうちに、娘の中でも、「私も行ってみたい!」という気持ちがゆっくりと自然に育っていたようです。セルラスという「環境」が育てくれるものの大きさを感じています。

《3》 セルラスインフォメーション

◆ 2016年 多言語教育講演会・セミナーのお知らせ ◆

春の講演会・セミナーは好評のうちに終了しました。次回は秋に各地で開催する予定です。
開催が決まり次第、お知らせしていきます。

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語習得や異文化体験、楽しい交流の活動を、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。